

精神分析 新刑土

重川 裕
Shigekawa Yutaka

フロイト

ポストモダニズム

米国

巖島神社

46XY

戦艦大和

平家

ペリー提督

46XX

ユング

集合無意識

A.D.476

ロニア

古代ローマ

社会化モデル

機動戦士ガンダム

ナポレオン

Pax Romana

コンスタンティヌス帝

自我

LGBT

裸のサル

パパがママになる

武士道

文芸社

ターミネーター

電子書籍の操作について

- ・ 目次をクリックすると、該当ページまで移動します。
また、移動先ページの見出しをクリックすると、目次に戻ります。
- ・ 「十字キー」やマウスのホイールを使用して読み進めます。
- ・ 「フルスクリーンモード」に設定すると、読みやすくなります。

「フルスクリーンモード」設定方法

メニューバー「表示」→「フルスクリーンモード」

Escキーで元の表示に戻ります。

※パソコン環境により、「フルスクリーンモード」が使用できない場合があります。

新型 精神分析

重川裕

Shigekawa Yutaka

文芸社

46XX

フロイ

エング

ポストモダニズム

合無意識

米国

A.D.476

巖島神社

ロシア

46XY

古代ローマ

戦艦大和

社会化モデル

平家

機動戦士ガンダム

ペリ

ナポレオン

Pa

コンスタンティヌス帝

LGBT

裸のサ

武士道

ター

はじめに

読者の皆様は、『新型精神分析』というこの本の題名を見て、「何が新型なのか？」という疑問を持たれると思います。§11でも述べておりますように、本書では、無意識は全ての生命体（細胞を含む）に存在している、と無意識の定義換えをしたことこそ重要なのです。これによって、臓器移植をすると臓器提供者の無意識も臓器を移植される人に移植されることになり（§14を参照）、本書では新たな問題点を指摘しております。無意識の定義換えにより、ジエンダーの問題の主要部分を精神分析にて解明することができるようになりました。

ジェンダーの問題を論じるにあたって、WHO（世界保健機関）による国際疾病分類によれば、性同一性障害（Gender Identity Disorders：略してGID）という病名がありますが、男女の性別について十分な考慮がなされておらず、患者様の不満が多いため、米国を中心にLGBT（Lはレスビアン、Gはゲイ、Bはバイセクシユアル、Tはトランスジェンダー）という用語が多く使用されますが、一つひとつについて明確な診断基準があるわけではありません。歴史的背景を考えると、当初は同性愛者ホモセクシユアルの方々が男性に多く見られたため、「ホモ」という用語には男性を意味するようなニュアンスがあるのですが、語源的には正しくありません。また、男性のホモセクシユアルの人々をゲイと表現すべきこの考え方がありますが、ゲイ（Gay）という言葉には「楽しい」とか「陽気である」という意味があり、ゲイの方々の無意識の葛藤を知

っている筆者としては不適切と判断しました。また、「ジエンダーに問題のある方々全てを正常者と同じと判断すべきである」との考え方が存在することを筆者は知っておりますが、ジエンダーに問題のある方々全てが、それぞれにおいて無意識に問題点を抱えておられる^レという観点から、医師としてヘテロセクシュアル異性愛者の人々と同じ土俵で論じることができないことをご理解いただきたいと思えます。結局どのような表現をしても「差別用語である」と叱責を受けることを筆者は存じておりますが、用語の定義づけの論争に終始することにより、物事の本質を見誤る愚だけは避けたいと思えます。本書を最後まで読まれた方々なら、筆者に偏見や差別意識がないことをご理解いただけるものと思っております。

筆者としては、精神分析的手法を楽しんでいただくことを目的として執筆い

たしました。精神分析とは究極のアナログであり、紙と鉛筆さえあれば誰でも参加することができるのです。医師の資格は必要ありません。読者の皆様が精神分析的手法や思考を通して日々の生活をより豊かなものにしていただければ、大変嬉しく思います。

重川 裕

新型精神分析◎目次

- はじめに 3
- §1 パパがオムツを替えると（男性の）ホモセクシュアルになる 13
- §2 レズビアンの方々について 18
- §3 凶悪化する子供たちとその対策 21
- §4 パパがママになり、ママがパパになる愚かさについて 24
- §5 戦艦大和の四六センチ砲を精神分析する 26
- §6 米国流の戦艦大和の沈め方 30
- §7 古代ローマ人の過ちを繰り返そうとする現代人 33
- §8 ロシアの男性同士がキスをする習慣がある理由 35

§ 9 古代ローマには辻ごとに子捨てボックスがあつた 39

§ 10 なぜロシアが東ローマ帝国の政治システムを取り入れたのか? 41

§ 11 無意識は全ての生命体に存在している 43

§ 12 自我の形状（無意識の形）について 45

§ 13 ターミネーターは出現するのか?

ロボットやコンピューターが自我に目覚めることはないのか?

46

§ 14 臓器移植をすると、臓器提供者の無意識も
臓器を移植される人に移植することになる

48

§ 15 臓器移植の功罪について 49

§ 16 世界的に激増する発達障害 51

§ 17 いつから高齢出産の定義が三〇歳以上から三五歳以上になったのか?

52

- § 18 男性の精子の数は、何故、一貫して減少を続けるのか？ 55
- § 19 「草食系男子」「肉食系女子」とは？ 57
- § 20 企業の利益至上主義が「男性をますます女性化」させる 59
- § 21 【精神分析基礎編①】 サッカーのボールは何を意味するのか？ 61
- § 22 【精神分析基礎編②】 ネクタイは何を意味するのか？ 64
- § 23 【精神分析基礎編③】 背広の起源は？ 66
- § 24 【精神分析基礎編④】 ナポレオン（一世）軍の強さの秘密は？ 67
- § 25 【精神分析基礎編⑤】 どうして戦争はなくならないのか？ 72
- § 26 【精神分析基礎編⑥】 どうして人を殺してはいけないのか？ 74
- § 27 【精神分析基礎編⑦】 どうして人間は自殺をするのか？ 76
- § 28 【精神分析基礎編⑧】 人類は、どうして意識（自我）に目覚めたのか？ 79

§ 29 【精神分析基礎編⑨】 人類は、パンツをはいたサルなのか？ 81

§ 30 【精神分析基礎編⑩】 いつから人類は家族をつくったのか？

父親が家族に加わったのは、いつなのか？

83

§ 31 社会化モデルとしての父親の重要性について 86

§ 32 パートナリティ障害（特に境界性人格障害）の方々が

激増した原因について

91

§ 33 なぜ、摂食障害の方々が激増するのか？ 93

§ 34 友達家族は間違っている 95

§ 35 幼い子供の前で、親はケンカをしてはいけない 98

§ 36 リストカット・抜毛行為の女の子 101

§ 37 ピアスを精神分析する 103

- § 38 平家とは、いったい何者だったのか？ 105
- § 39 女性の方が髪の毛が伸びるスピードが速かった理由 108
- § 40 男性における、失禁謝罪願望について 111
- § 41 デカルトについて 112
- § 42 失われるナイチンゲール・シュバイツァー精神 114
- § 43 なぜ人間に喜怒哀楽があるのか？ 116
- § 44 どうして、アルコール中毒（アルコール依存症）、
薬物中毒は難治なのか？ 118
- § 45 女性が言っ**て**はいけないセリフがある 120
- § 46 女性は人類の進化のスピードを速めるために男性をつくった 122
- § 47 一九八一年に人々は愛を失った 124

§ 48 自殺の増加の責任は精神科医にあるのか？

126

§ 49 もはや、女性は男性を必要としなくなっている

128

§ 50 最後に「総まとめ」をさせていただきます

131

おわりに

133

§ 1

パパがオムツを替えると(男性の)ホモセクシユアルになる

今や米国の全年齢層の男性の少なくとも二〇パーセントがジェンダーの問題を抱えていると思われます。四〇歳未満の若年層に限れば相当に高い率で男性の同性愛者ホモセクシユアルの人々が存在することになります。

男性役のホモセクシユアルの人々(染色体は46XY)は、見かけ上、一般の男性ヘテロセクシユアル(異性愛者の男性)と区別がつかない為に一般の人々(ヘテロセクシユアルの人々)は男性のホモセクシユアルの人々の人数について過小評価をする愚を繰り返してきました。

日本の場合、米国ほど深刻な状況ではないとはいえ、学生世代に限れば、現

在においても男性の約一〇パーセントがジェンダーの問題を抱えていると思われます。米国にしろ、日本にしろ、アンケートをとろうとしても社会的な差別が存在する為、簡単にカミングアウトできない現状があるわけです。ですから、どうしても推定でしか物を言えないもどかしさがあります。

しかしながら精神科医として、いや、一人の人間として、これ以上ジェンダーの問題を抱える人々が増加することを看過することはできないのです。今こそ、その原因について、わかる範囲内で世間の人々に知っていただく時期が来たと思っております。

男性のホモセクシュアルの人々が増加した原因は、ズバリ、父親が息子さんのオムツを替えることにあります。赤ん坊は、その性別にかかわらず父親にオムツを替えてもらうことは全く希望していません。父親にオムツを替えて

もらうことは、母親に対する不信任に直結します。

私が自信を持って言えることは、男の子の赤ん坊の場合で、オムツ交換をする人物が父親（その他の男性を含む）のみであった場合、その男の子がホモセクシユアルになる確率は一〇〇パーセントであるということです。

新生児や乳児に対する学問は今まで遅れていたのですが、生後一ヶ月以内の新生児はともかく、生後二、三ヶ月の乳児は近眼でありながら視力は〇・一程度あり、自分の肉眼でオムツを交換してくれる人物を確認することが可能です。生後六ヶ月で視力は〇・二まで向上します。生後三ヶ月以内であっても、聴覚と嗅覚は大人以上に発達しており、母乳の匂いのみで自分の実母であるかがわかるほどなのです。ですから、どの時期であっても、父親（その他の男性を含む）がオムツを替えることは、危険であると言わざるを得ません。

ところで、女の子の赤ん坊のオムツを父親（その他の男性を含む）が交換した場合、男の子がホモセクシユアルになるほどの劇的な変化は起きるのでしょうか？ そのことについては後述したいと思います。

実際に問題となるのは、男の子の赤ん坊のオムツを夫婦で交互に交換するという事例でしょう。夫婦共働きが激増しているわけですから、このようなケースで赤ん坊が将来ホモセクシユアルになるかどうかを知りたいと思われる方が多いのは当然です。しかしながら、この場合赤ん坊の「感受性」にも左右される為、「ケースバイケースである」としか返答できないのです。

科学者としては、父親が男の子のオムツを交換する率を一〇〇パーセントから一〇パーセントまで一〇パーセント刻みで変動させて、二〇年後に男の子がホモセクシユアルになったかどうかを判定する「人体実験」を正確に実行すべき

なのかもしれません。しかし、それを実行すれば、ナチスの強制収容所や七三一部隊による人体実験と大して変わらないことになります。医師としてのモラルや実験される男の子の人権問題などが大きく関与してくるのです。

私としては、男の子の赤ん坊の場合、父親（その他の男性を含む）がオムツ交換に全く関与しなければ、その男の子が将来ホモセクシユアルになる確率は〇パーセントなのですから、私の仮説を信じていただくしか方法はないわけです。その結果として、地球上からホモセクシユアルの男性の新規発生がほとんどなくなれば、科学的にも証明されたこととなります。

※ゲイ（GAY）という言葉には「楽しい」とか「陽気である」という意味があり、ゲイの方々の無意識の葛藤を知っている著者としては不適切と判断いたしました。決して、差別しているわけではありません。

§ 2

レスビアンの方々について

一九六〇年代までは、レスビアンの方々の場合、二人のパートナーのうち、必ずと言っていいほど両方の女性が「女性役」を希望したのです。

しかしながら、一九六〇年代以降状況は一変し、突然と言っていいほど常に「男性役」のみを希望するレスビアンの人々が出現したのです。自分の本来の性について否定的な為、トランスジェンダー (Transgender) 的な要素もあると思います。現在の日本では「おなべ」と呼ばれている人々なのですが、この人々に対する精神分析は困難を極め、私自身、分析は不可能だと思っていた時期がありました。

途中省略

続きは製品版にてお読みください。

著者プロフィール

重川 裕 (しげかわ ゆたか)

1962年8月18日生まれ。広島県出身、同県在住。

1992年、愛知医科大学医学部医学科卒業。

愛知医科大学病院精神科、安佐病院精神科勤務を経て現在開業医。
精神保健指定医。

新型精神分析

2011年12月15日 電子版発行

著者 重川 裕

発行者 瓜谷 網延

発行所 株式会社 文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060 (編集)

03-5369-2299 (販売)

<http://www.boon-gate.com>

© Yutaka Shigekawa 2011 Coded in Japan

ISBN978-4-286-11114-8

(紙の書籍をお求めの場合には、お近くの書店にてお尋ねいただくか、文芸社ホームページ

<http://www.bungeisha.co.jp> をご参照ください。)